

膨らんだ
予算削減

アスリート本位のオリンピックに



日本共産党東京都議団ニュース

大山とも子
だより

9月18日
NO. 314

発行

日本共産党都議団

控室 電話(5320) 7270
FAX(5388) 1790

都知事に提言



▲提出後、記者会見する
日本共産党都議団

2020年東京オリンピック・パラリンピックで競技施設整備費などの東京都負担が増大している問題で、日本共産党都議団は8月30日、五輪費用増大の経過と全容を明らかにするとともに抜本的な費用削減に取り組むよう、小池百合子都知事に提言を提出しました。

すでに当初計画の2倍以上

歯止めない負担増をどう抑えるか

共産党都議団は、これまでも都負担の拡大や不透明な財政運営をただし、経費削減策などさまざまな提案を行ってきました。

主な提言内容

- ▽設計変更や仮設の切り替えなど — 過大な施設や、五輪後の利用が不明確な施設は、抜本的に見直し、整備費削減をはかる
- ▽組織委員会の収支等の公表 — 五輪の総費用や組織委員会の収支計画・財政運営を監視し、直ちに公表するとともに削減する
- ▽国や負担や民間への協力も — 都本来の役割・責任をこえた負担を受け入れず、国の負担や民間の協力を求める
- ▽口利きなどの調査 — すべての請負契約で、議員の口利きの有無など全面的に調査し公表する

提言は、現時点で明らかになっている東京五輪の施設関係費用の都負担額が、3521億円と、立候補ファイナルで示された金額の2.3倍になっていると指摘。組織委員会の責任である仮設施設の整備費などの負担を都に求める動きもあり、都負担が歯止めなく増加しかねないと指摘。具体的上記の内容を提言しました。

都民が納得できるムダのない五輪成功に全力

都民の命と暮らしを守ることが都政の使命です。費用の削減、透明化にとりくみ、都民みんなが祝える五輪成功に全力をあげます。

都議会議員（新宿区選出）

おおやまともこ

大山とも子

連絡先

大山とも子事務所

電話 (3357) 3818 FAX (3353) 4912
新宿区住吉町11-25 ●ご意見ご要望をお寄せください

汚染対策の盛り土せず

(前ページからつづき) 小池百合子知事は1日、「都政改革本部」に「五輪調査チーム」を設置。五輪費用などの全体像の明確化と情報公開、国や組織委との関係の検証に取り組みとしています。9月中に第一次報告を出す予定です。

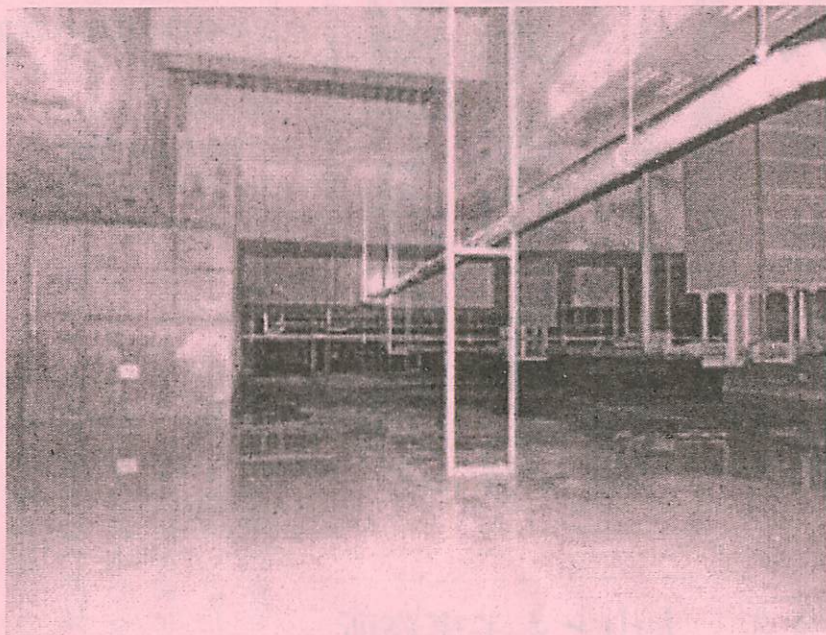
現在明らかになっている 施設関係の都負担

負担対象施設・費目	金額
都立競技施設整備費	2241億円
有明アリーナ用地費	183億円
海の森・中潮橋撤去費	38億円
選手村基盤整備費	410億円
選手村防潮堤整備費	11億円
新国立競技場整備費	448億円
代々木公園買収補償費	152億円
旧明治公園用地無料貸し出し	33億円
体操競技場(仮設)設計費	5億円
総額	3521億円

東京都が築地市場の移転先としている豊洲新市場で、土壌汚染対策として厚さ4・5メートルの盛り土を全面にわたって行う予定が、主な建物の地下の地盤で行われていなかったことが明らかになりました。日本共産党都議団(吉田信夫団長、17人)が7日の現地調査で確認したものです。

豊洲新市場予定地は1988年まで東京ガス工場が操業し、環境基準の4万3000倍の発がん性物質ベンゼンや、猛毒のシアン化合物、ヒ素などで汚染されていたことが発覚。都民の移転反対の声が高まりました。都の専門家会議は2008年、移転を前提に工場操業当時の地盤面から深さ2メートルにわたり土を掘り下げ、厚さ4・5メートルの盛り土を行う「土壌汚染対策」を提言しました。

ところが、党都議団の調査では、新市



盛り土がなく地下水がたまっていた豊洲新市場の建物地下
=7日、東京都江東区(日本共産党都議団撮影)

場の建物の下で4・5メートルの盛り土が行われておらず、深さ5メートルの地下空間となり、底面には碎石層や薄いコンクリートが敷設され、水がたまっていました。

小池都知事「改めて検証」

東京都の小池百合子知事は10日、盛り土が行われていなかった問題について都庁で緊急記者会見を開き、事実を認め、改めて検証を行うと表明しました。

小池知事は盛り土の予定について「(建物下の)全てが(土壌を)入れ替えた上で盛り土されているというのは、現状では正しくない。訂正させていたいただきたい」と事実を認めました。

2008年に盛り土などの土壌汚染対策を提言した専門家会議の委員や、知事が設置するプロジェクトチームで対策の妥当性について検証する意向を明らかにしました。